

校 史 資 料 室

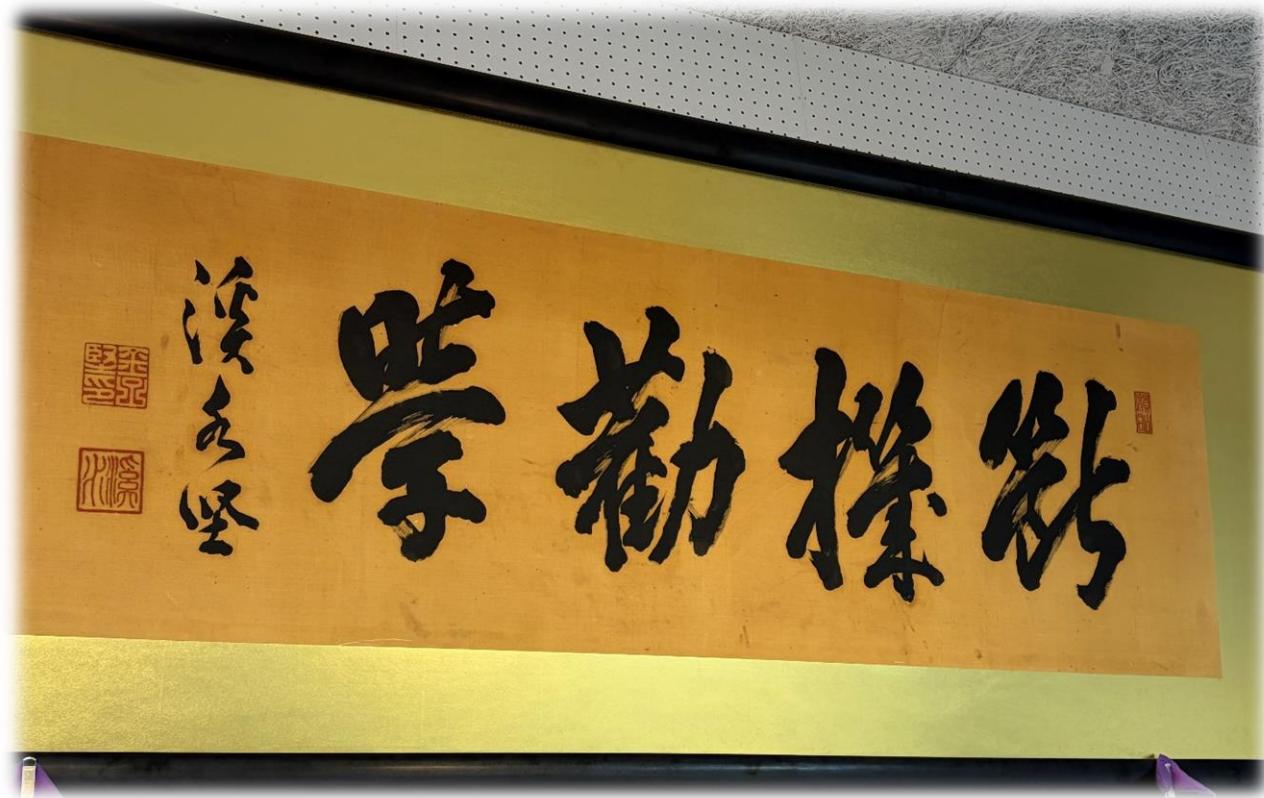
校史資料室のあゆみ

1986 年の創立 80 周年を機に持ち上がった資料室の構想は、1995 年の創立 90 周年記念事業

「歴史資料室開設準備委員会」の発足により本格始動しました。

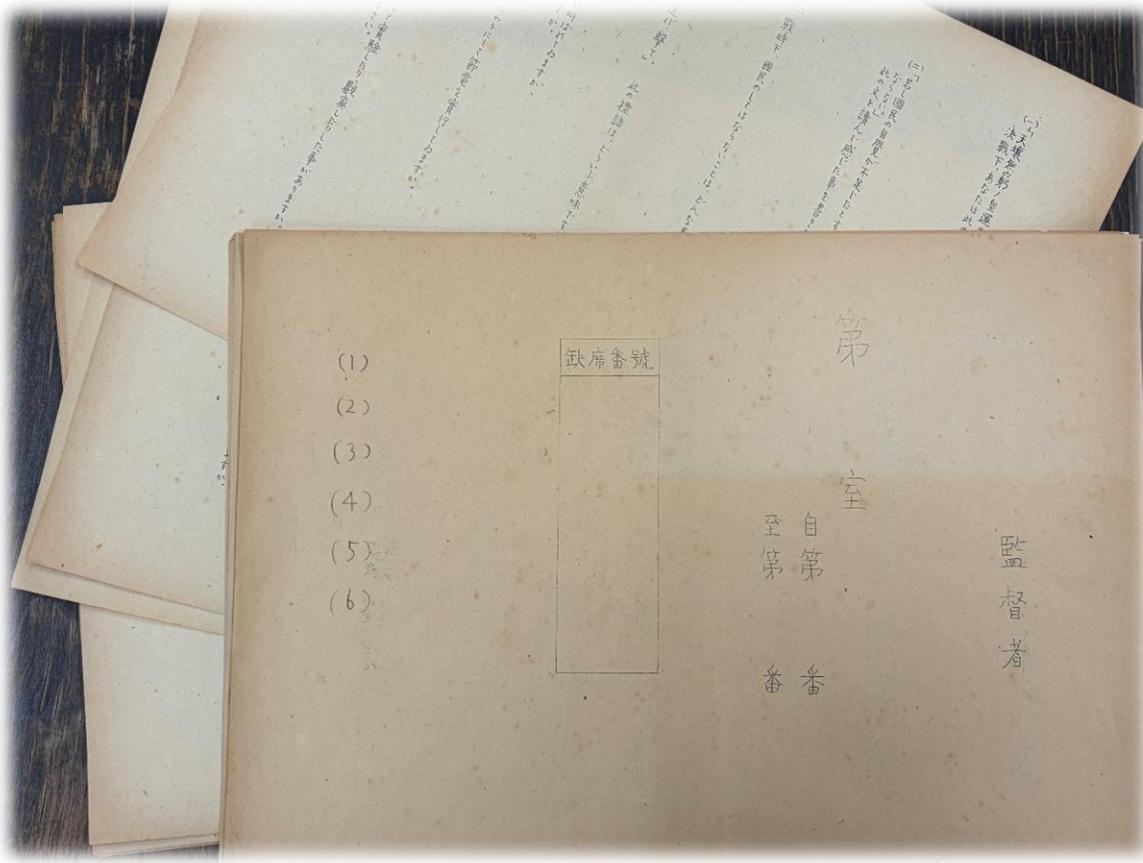
活動は、校内に眠る資料の整理や目録作りから始まりました。旧講堂ゆかりのシャンデリアの運び出しや標本の整備など、有志による心血を注いだ作業が続けられ、卒業生から多くの貴重な資料が寄せられました。

その後、2001 年には県の支援事業により展示設備が充実し、名称も「校史資料室」へと改称。後援会の寄付により、旧講堂の象徴であった『断機勸学』等の額も美しく修復されました。そして 2006 年、創立百周年記念事業として、ついに長年の歩みを形にした一般公開の日を迎えるに至りました。



▲ 「断機勸学」金子堅太郎書

昭和 8 年 6 月 13 日、この扁額を行動に掲げ、「孟母断機の教え」として生徒に訓話した。



▲太平洋戦争中の入試問題

▼社会科室の廊下にあったもの。箱の中の針金の上に黒板消しをのせてハンドルを回すときれいになる。

